

回覧

# 茂原市文化協会会報



コスモスの夕ぐれ (写真 茂原写友会)

初春を迎えお慶び申し上げます。立春が過ぎ、少しづつ春めいてまいりました。本会の活動に際し、ご尽力を頂いております皆様へ感謝と御礼を申し上げます。

令和7年度も締めくくりの時期になりました。第74回文化祭も無事成功裡に実施され、大勢の皆様へ文化芸術にふれる機会をつくることができましたと思います。また、本会は発足から36年が経っております。現在、加盟団体26団体の中で20年、30年を迎える会もでてきております。更には本会発足時からの会はまもなく40年を迎えようとしております。

旧中央公民館と旧市民会館の取り壊し工事が現在行われております。令和9年2月までには終了予定になっております。展示のできる場、音響の良いホールは市民の願いでもあるはず。市をあげてこれから考えていくはず。本会としても、大いに力を入れていきたいと思っております。

結びにあたりまして、皆方の更なるご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

## 「二年一年を大切に」



茂原市文化協会会長  
細谷 菜穂子

## 会長あいさつ



## 音楽文化塾「赤い鳥」 20周年を迎えて

音楽文化塾「赤い鳥」は、平成17年に、新村道子先生により、唱歌・童謡を次世代に残したい、児童養護施設の子供達を招待して共にレッスンをしたいという二つの目的をもって創設されました。

新村道子先生に於かれましては、発起から17年間塾長として、また、ご勇退されました後は、顧問として折々のレッスンをお願いしております。令和4年度からは、神明正子が塾長を引き継いでいただきました。

この度、20周年を迎え、11月30日に記念の式典が行われました。

文化協会会長細谷菜穂子様、社会福祉法人「獅子吼園」施設長佐藤健太様、初代塾長新村道子先生始めご来賓の方々、卒業生を迎え、同窓会の様な和やかな祝典となりました。

文化協会長様から、第一期の17年間の数々のイベント、中でも、東日本大震災支援コンサートは、被災者様に心を寄せる素晴らしい活動であったとお言葉を頂きました。また、新村道子先生による記念講演「鈴木三重吉と赤い鳥」では、児童文学の夜明けについて、先生ご自身のご体験を含めて、貴



重なお話を伺いました。

さらに、思い出の歌のコーナーでは、明治・大正・昭和の唱歌・童謡のカラフルな歌詞カードで、プラカード等の小道具を使い、コンサートさながらのひとときでした。

卒業生の中には、介護福祉施設で「赤い鳥」のレッスンの資料をもって、歌の先生をしています。「来春には、中学の国語の先生になります。」等の声を聞き、長年の「赤い鳥」の活動に花が咲いたようで嬉しく思います。

これからも、発足当時の当会の目的を大事に活動していきたいと思っております。

## 事業報告

◆ 理事会  
令和7年5月15日(木)

◆ 議案  
評議員会の開催について

評議員会提出議案について  
その他について

文化協会会報第13号の作成について

◆ 評議員会  
令和7年5月30日(金)

◆ 議案

令和6年度事業報告について

令和6年度決算報告及び監査報告について

◆ 議案

令和7年度事業計画案について

令和7年度予算案について

令和7・8年度茂原市文化協会役員改選について

原案どおり承認されました



## 茂原市文化協会加盟団体

団体名	団体名
茂原市音楽協会	日本郵趣協会茂原支部
茂原市美術協会	茂原写友会
茂原市書道協会	茂原市盆栽連合会
日本将棋連盟茂原支部	本納文化財顕彰会
茂原交響楽団	茂原市ハーモニカ協会
茂原陶磁研究会	音楽文化塾「赤い鳥」
茂原市文芸協会	茂原囲碁クラブ
茂原刀剣研究会	茂原混声合唱団「四季」
茂原市洋舞協会	茂原軽音楽協会
茂原市三曲協会	茂原市伝統郷土料理協会
茂原市吟詠協会	茂原舞踊協会
茂原市華道協会	茂原シニアアンサンブル
茂原市茶道協会	長生フィルム会

## 編集後記

世の中が、日本憲政史上初めての女性首相誕生という時代の大きな節目を迎え、茂原でも各種行事や芸術文化発表会場として、長年親しまれてきた茂原市民会館の取り壊しが進むなど世の中の変化を強く感じる年となりました。こうした時代だからこそ、文化が人と人を結ぶ力を改めて大切にしたいと感じます。

(I)

## 茂原市文化協会会報(第13号)

編集・発行 茂原市文化協会  
発行日 令和8年3月31日  
代表者 細谷 菜穂子  
事務局 三二九七八五二一 茂原市道表一  
茂原市教育委員会生涯学習課内  
Tel 〇四七五(二〇)一五五九  
Fax 〇四七五(二〇)一六〇七  
字 細谷 菜穂子

### 茂原市茶道協会

茂原市茶道協会は平成8年より茶道文化の継承と振興に努めてまいりました。今年度創立30周年を迎え、令和8年2月に記念茶会を開催いたしました。また、今年度の研修としては講師をお迎えし、吹寄せ（紅葉や実などをかたどったお菓子）などの菓子作り、30名の参加者によるこばれました。また、文化祭茶会では多くの方々に美味しいお菓子とお茶で楽しんで頂きました。

海外に誇れる茶道文化を更に親しんで頂けるよう活動して参りたいと思っております。



### 本納文化財顕彰会

昭和32年に36名で発足した本会は、令和7年現在42名の個人会員と2団体会員（橘樹神社、蓮福寺）で活動しております。

定期総会、古文書講座、視察研修、文化祭の諸行事に加えて、役員を中心にして荻生徂徠塾学の地及び鶴澤總明頌徳碑周辺の清掃活動等を実施しております。

本年度の文化祭は、「橘樹神社と関係寺社」をテーマに橘樹神社と蓮福寺及び川戸神社の江戸時代における関係性などを古文書から解き明かしました。

今後とも地域の歴史や文化を守り、育む活動を続けて参りたいと考えておりますので、興味・関心のある方は是非ご参加をお願いいたします。



令和7年度定期総会



第74回文化祭

### 茂原写友会

私達は茂原市文化協会所属の写真愛好家グループです。

結成は古く昨年秋に茂原市立美術館で、第63回茂原写友会写真展を開催しました。春展、秋展、年2回の展示会を通して、日頃の活動の成果を発表すると共に、写真愛好家相互の交流を深め、写真技術、写真文化の広い普及に務めております。

尚歴代の諸先輩方が務めた米寿写真の撮影を、訪問及び受け入れを通して、ボランティア活動として引き継いで来ました。

写真は、フィルム、デジタルに限らずスマホに至るまで広く世の中に浸透している昨今ですが、良いと感じたものを感じたままに切り撮り作品に仕上げていく、そういう活動を、一緒にしましょう！



### 華道協会

年一回の茂原市文化祭が10月31日より11月2日まで開催され今年度も250名の来場者を迎え有意義の文化祭でした。

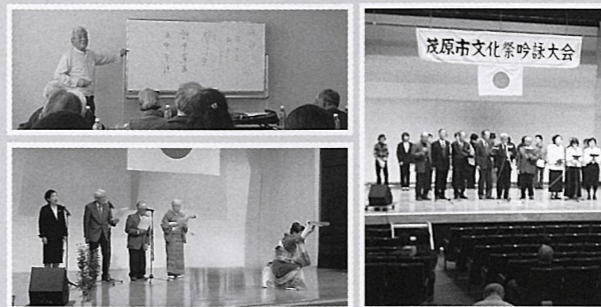
華道の歴史は古く史によって中国の佛前供養の花が小野妹子によって日本も佛前供養の花として始まり江戸時代になり床の間の花として進化して今に至っています。流派も70を越える中で茂原市は、池坊・小原流・草月流・龍生派の会員により文化祭が行われています。

文化無くして市の発展はないと言われている様に茂原市が文化祭を開催し華道展が発表される事は意義深いものと思っております。



### 茂原市吟詠協会

茂原市吟詠協会は7団体、会員数は60名です。今年で創立34年目になります。春と秋に吟詠大会を東部台文化会館実施。過日11月1日の秋の大会では詩吟と舞踊のコラボを実施し、観ていただいている方に日本の伝統文化をより感じていただける機会になったと思います。その他の活動として研修会を実施。以前30周年の折に漢詩長生八景をつくり、その詩碑、八景めぐりや講演会を実施しております。今年度の秋の大会は60回の記念の会です。永く努力されている会員には賞状を差し上げたいと考えております。声を出すことは健康にとっても良く、腹式呼吸と喉を鍛えることによって、誤嚥予防にもなると言われております。皆様も始めてみませんか？



### 茂原市ハーモニカ協会

茂原市ハーモニカ協会は、茂原ハーモニカクラブ、茂原カヨウエコーズの二つのクラブを会員とし、ハーモニカの演奏活動を通して広く社会に貢献する事を目的に、平成17年4月に設立し、同時に茂原市文化協会に加盟しました。

活動は、千葉県ハーモニカ協会主催の「ハーモニカ・コンサート」「ハーモニカ・サークル交歓会」、茂原市文化祭の「音楽の広場」茂原市総合市民センター主催の「芸能発表会」「ふれあい祭り」茂原地区ハーモニカ教室発表会に参加。又、ボランティア団体として平成15年ハーモニカアンサンブル「茂原アザレア会」を立上げ、茂原市社会福祉協議会に登録し、原則長生郡市内の障害者施設、高齢者福祉施設、地域のイベント、社会福祉団体等を訪問。ハーモニカ演奏を通して、慰問と交流を図っています。訪問依頼は、茂原市社会福祉協議会に問合せ下さい。

これからも演奏技術の向上に努めて参ります。



茂原ハーモニカクラブの演奏場面 茂原カヨウエコーズの演奏場面

### 茂原市盆栽連合会

今年度開催されました文化祭において、10月31日（金）～11月2日（日）の3日間茂原市総合市民センターにて、盆栽展を開催いたしました。多くの作品展示を行い、大勢の方に作品を鑑賞していただくことが出来ました。



### 日本郵趣協会 茂原支部

郵便切手は方寸の芸術品とも言われ、あのわずか数センチ四方の紙片から、世界の文化、風俗、歴史、風景、動植物など、さまざまな事から知ることが出来ます。

そして切手を通じ世界中に通信が出来、世界中の人々に愛され国際的な趣味として収集されているのが郵便切手です。その切手等を通じ郵便の歴史、文化など調査や研究などを目的とした愛好家のグループで、全国組織である公益財団法人日本郵趣協会の茂原支部です。1983年に発足しすでに43年が経過しております。

支部の活動は、毎月第2土曜日の午後から茂原市総合市民センターで例会を開催、また、毎月発行する支部の会報「もばら」は516号（令和7年10月現在）を休刊もなく連続して発行しております。

今後は会員の高齢化、会員獲得等の問題も抱えておりますが、皆様方からのご支援・ご協力を頂きながら支部としての活動を推進して参ります。



関東郵趣大会 2025 in 茂原 2025年6月14日 於：茂原市総合市民センター